

10

2次関数 $y=2x^2+1$ のグラフを C とする。グラフ C を x 軸方向に 2, y 軸方向に -4 だけ平行移動すると, 2次関数 $y=f(x)$ のグラフと一致した。このとき,
 $f(x)=\boxed{\text{ア}}x^2-\boxed{\text{イ}}x+\boxed{\text{ウ}}$ である。

(1) a は定数とし, 2次関数 $f(x)$ の $a\leq x\leq a+3$ における最小値を $m(a)$ とすると

$a<\boxed{\text{エオ}}$ のとき $m(a)=\boxed{\text{カ}}a^2+\boxed{\text{キ}}a-\boxed{\text{ク}}$

$\boxed{\text{エオ}}\leq a\leq\boxed{\text{ケ}}$ のとき $m(a)=\boxed{\text{コサ}}$

$\boxed{\text{ケ}}<a$ のとき $m(a)=\boxed{\text{シ}}a^2-\boxed{\text{ス}}a+\boxed{\text{セ}}$

である。

(2) 2次関数 $f(x)$ の $a\leq x\leq a+3$ における最大値が $f(a+3)$ となるとき, a の値の範囲は

$a\geq\frac{\boxed{\text{ソ}}}{\boxed{\text{タ}}}$ である。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ

年 組 番 名前

11

a は定数とし, $f(x)=x^2-2(a+1)x+a^2+6a-3$ とする。

(1) すべての実数 x に対して, $f(x)>0$ となるような a の値の範囲は, $a>\boxed{\text{ア}}$ である。

(2) 2次関数 $y=f(x)$ のグラフが, x 軸の $x>1$ の部分と異なる 2 点で交わるとき, a の値の範囲は, $\boxed{\text{イウ}}+\boxed{\text{エ}}\sqrt{\boxed{\text{オ}}}<a<\boxed{\text{カ}}$ である。

(3) 不等式 $x^2-x-2\leq 0$ を満たすすべての実数 x について $f(x)\leq 0$ となるとき, a の値の範囲は, $\boxed{\text{キク}}\leq a\leq\boxed{\text{ケ}}$ である。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ